

和文化室礼展 2022

実施概要書

国の有形文化財の「清閑亭」を会場に 2021 年秋まで、「和文化室礼展」を毎年開催してきましたが、来年より清閑亭が使用できなくなる方向であることから、新しい、今日的な和空間を演出・創造することが、今までの座敷飾りに替わる“しつらい”と考えます。

和文化として手法の掛け軸、床の間に活かされた“生花・格花”の技法表現などをこの新しい建築空間にいかにしつらえるかでしょう。

日本の和文化を次代を担う子ども、青少年に知ってもらい、文化芸術活動の充実を図る事業を、また高齢者の文化芸術活動の充実を図る事業として、親子、高齢者を含めての『水』をテーマに制作アートワークショップを会期中します。

会期：2022 年 8 月 10 日(木)～ 14 日(日)…観賞は、三の丸ホール開場時間

会場：小田原三の丸ホール展示室

文化振興…制作アートワークショップ…ロビー or 展示室 or 芝内コンクリート部

・8 月 9 日(木) 14:00<『水』>、8 月 11 日(土) 10:00～<煎茶>・14 日(日) 13:00～<ギャラリートーク『華と器と室礼』>

搬入:8 月 9 日(木) 9:30～14:00。<14:00 以降は一般者の見学自由>

出品予定…絵画、書、陶、華、金属工芸、漆、グラフィック、石彫、木彫、友禅、染色、スタンドグラス…

◆出品者(予定)平面は、壁面吊り使用、立体は机使用なし直置き(引きずったりしないこと。)

<華>杉崎宗雲、西井秀喜、遠藤理智、渋谷理小夜、中村宗久、佐藤とも、瀬尾理祥、長尾理照、藪田華孝、田津原椋広、鶴澤宗佳、

<書>永井香峰、中原茅秋、金竹秋苑、<染>奥津和子、宮部禮子、

<陶>遠藤博、西静江、廣瀬祐見、浅倉貴子、波多野安希、岡村昭男、村田真樹、

<平面>小玉文夫、岩崎宏、波多野杜邦、永井等、井出文洋、杉村倉太、杉野玲子、吉川信雄、村田訓吉、井上代根子、篠原一夫、鈴木悟、他

<立体>勝孝、石川充宏、齋藤卯乃、山口真理子、宮崎桂一、瀬戸伸仁、安藤美茂、吉田収、望月勤、宮部禮子、杉崎宗雲、渡辺珠菜、田中康二郎、他

◆出品会費：4000 円(5 月末までに振込)

◆会場設営(しつらい)について、…会場(A・Bブロック)に、畳(莫座)の使用により床の間の雰囲気を作り、机等の併用にて、立体の作品を展示。

立体の隣に平面が来る置き方。高さ 30cm の台に屏風作品の設置。格子板を設置、平面も掛け軸等を含め和風の雰囲気にする。

大きな文字(500cm×180、寄せ書風)に)の展示も行う。

◆展示については、上記のいけばなの伝承の生花(床の間から生まれた様式といわれる)とのコラボ展示(A・B)のコーナーでは、伝承の生花・格花の作品を会場内にて放映する。(各作家 3 枚を 5 月までに)。(搬入時の撮影)展示会の作品を含め youtube にて発表する。

各作家の展示コーナー(C・Dブロック)においても、搬入後に撮影し youtube にて発信します。

◆作品の大きさ等については、5 月末までにプレゼンしてもらい、それにより配置等 6 月に決まる

◆スケジュール

①会場概要の構築(案)…2 月 19 日 10:00 観光交流センターイベントスペースと三の丸ホール

②例会・企画実施案…4 月 14 日 16:00-18:00、UMECO 第 7 会議室

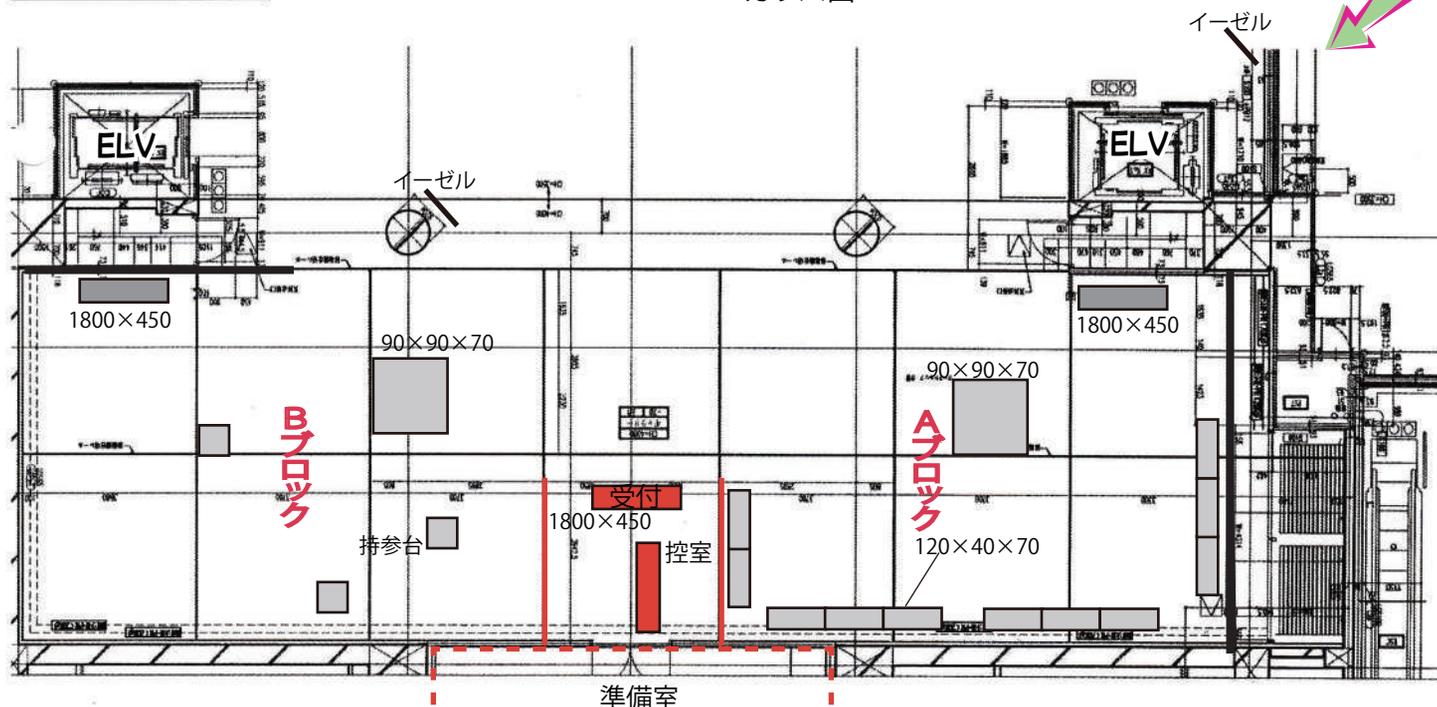
◆出品者紹介と確認会議…6 月 12 日(日) 15:00。UMECO 会議室 5-6 を予定。

◆展示案…会場図案参照(2022.01.21 現在)

文化振興「水絵」

案

ガラス面



控室を作り、準備室と連動する